

消防団長年頭あいさつ

大船渡市消防団長 猪股拓也



令和三年の輝かしい新春を迎え、大船渡市民並びに消防関係者の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様方には、平素から我々消防団の活動に対しまして、特段のご理解とご協力を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、さまざまな社会活動が自粛され、市民生活にも不安と混乱が生じた一年でありました。当消防団においても、消防演習や操法競技会を中心とし、本年の消防出初式では、伝統ある縺振りやラッパ隊ドリル演奏を取りやめ、規模を縮小しての開催といたしました。長期にわたる不本意な活動が続いておりますが、これまで同様、一人ひとりが感染対策を徹底し、新しい活動スタイルを取り入れながら、消防事業の推進に努めていきたいと考えております。

さて、昨年の火災を振り返りますと、消防出初式終了後の夜に建物火災が発生し、四百八十名の団員が出動しました。夜通し活動に当たった団員もおりましたが、発生件数はわずか三件であります。このうち、住宅火災においては二件にとどめ、火災抑止目標の十三件を大幅に下回ったところであり、火災統計を取り始めた昭和三十九年以降、最少件数であります。このことは、消防職団員が幅広い予防啓発活動を展開した成果であり、家庭におかれましても火災予防意識の浸透が図られているものと確信しております。

また、近年、異常気象とともに頻発する自然災害は、全国各地に甚大な被害をもたらしています。そして、今年はあの東日本大震災から十年を迎えます。決して忘れてはならない貴重な教訓は、ますます多様化する現場活動にあつて、団員の基本行動となります。引き続き、予防消防に総力を挙げ、いつ何時発生するか分からぬ災害に、消防団の動員力をもつて、即時対応体制の確立に尽力する所存であります。

我々消防団は、地域の安全・安心の確保という使命のもと、日頃から地域に密着し、住民の信頼と負託に応えていくとともに、未来を見据え、大船渡市消防団のビジョンを描き、新時代に即した消防団として歩み続けて参りますので、皆様方には今後ともなお一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新年が災害のない希望に満ちた一年となりますことを心からお祈り申し上げますとともに、大船渡市民のご健勝とご多幸をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

～大船渡市消防団1年のあゆみ～

令和2年火災件数

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

建物火災	3件
林野火災	0件
車両火災	0件
船舶火災	0件
その他火災	0件
合計	3件

2020年(令和2年)

4月 1日	団幹部辞令書交付式	11月 9日	秋季全国火災予防運動
8月 21日	気仙地区支部理事会	～15日	
8月 23日	消防団機関員教養	11月 19日	岩手県民の消防職団員表彰式
9月 17日	全国消防殉職者慰霊祭	11月 21日	救助用資機材技術講習会
9月 24日	岩手県消防殉職者慰霊祭		
10月 18日	大船渡市防災訓練		

2021年(令和3年)

1月 17日	大船渡市消防出初式	3月 1日	春季全国火災予防運動
1月 26日	団本部夜警視察(1回目)	～7日	
2月 24日	団本部夜警視察(2回目)	3月 5日	日本消防協会定例表彰式
3月 1日～	山火事予防運動	3月 18日	岩手県消防表彰式

令和3年大船渡市消防出初式



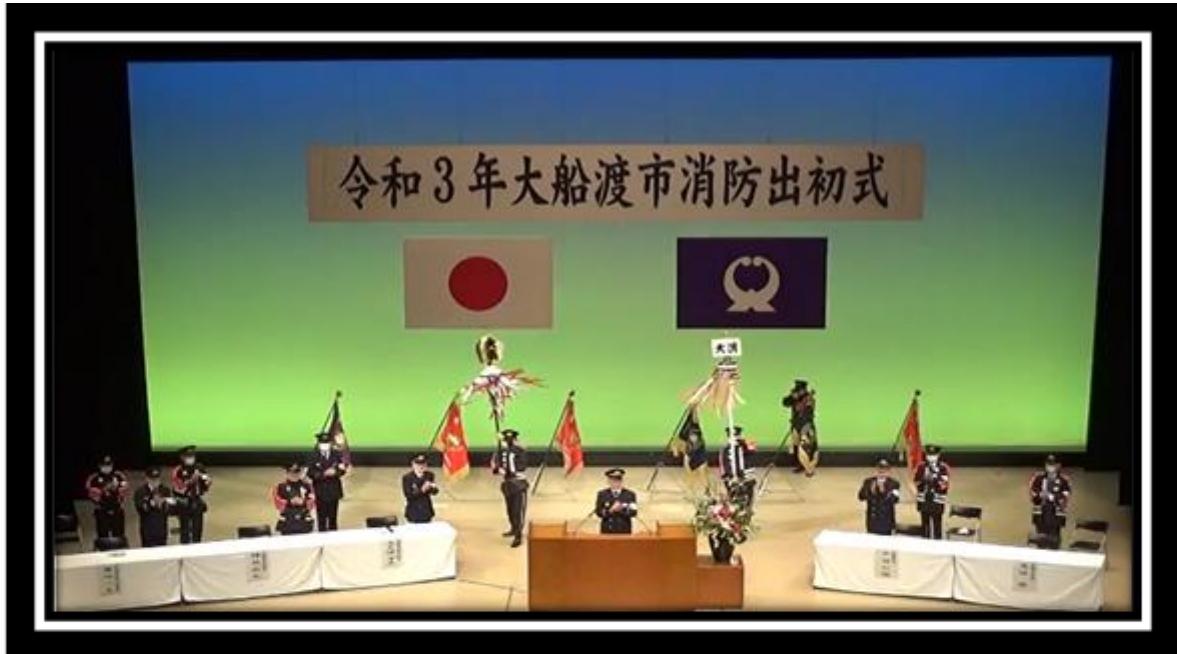
1月17日（日）、リースホールを会場に新春恒例の大船渡市消防出初式を挙行しました。本年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、分列行進および纏振り、ラッパ隊吹奏の中止など、規模を縮小し、式典のみの開催といたしました。式典では、戸田市長より「強い郷土愛のもと、市民の生命と財産を守り、消防使命を遂行していることに敬意と感謝を表します。また、新型コロナウイルス感染症の影響のため、参加出来なかつた団員の方々にも深く感謝を申し上げます。」とのお言葉を頂きました。また、大久保消防長は「昨年の火災件数は、統計史上最も少ない数値を達成しました。消防団との連携をさらに強化し、防災対策を推進してまいりますのでご支援ご協力をお願いします。」と挨拶をされました。消防団功労表彰、無火災分団表彰、一般功労表彰が行われたあと、志田副市長による火防祈願の三本締めで無火災達成の決意を新たにしました。



戸田大船渡市長



大久保消防長



志田副市長による三本締め



開式の辞 大田副団長



猪股消防団長



閉式の辞 管野副団長



総合司会 石橋司令補



祝電披露 三浦消防士



表彰司会 金野本部長

～大船渡市長表彰～



消防団功労表彰 第11分団

令和2年3月2日三陸町越喜来地内で発生した行方不明者捜索事案において、早期に発見、救助した第11分団の功労に対し、市長より表彰状が授与されました。

～消防団長表彰～



一般功労表彰 清水久弘 様

旧第11分団第2部消防屯所用地(三陸町越喜来上浦嶺地内)を長きにわたり無償で提供され、地域防災の推進に多大な貢献をなされました、清水久弘様に対し、消防団長より感謝状が贈呈されました。



一般功労表彰 山崎太樹 団員

令和2年12月8日、三陸町越喜来崎浜漁港沖で発生した救急事案において、救急車を誘導し、積極的に搬送協力をを行い、一刻を争う傷病者の早期救急搬送に貢献した、第11分団第2部、山崎団員に対し、消防団長より表彰状が授与されました。

無火災分団表彰



2期間達成分団

第1分団・第4分団

第6分団・第10分団



第6分団長 三浦謙一

第10分団長 炭釜秀一

無火災分団表彰

第1分団長 千葉繁規

第4分団長 菅原尚久

【期間限定】 第2分団・第5分団・第8分団・第9分団・第11分団・第12分団



第2分団長 木下清吾



第5分団長 志田雅彦



第8分団長 金野道程



第9分団長 菊地正洋



第11分団長 石川利宏



第12分団長 小坪智幸



新型コロナウイルスの影響で、消防団を取り巻く環境は大変厳しいものがあります。大船渡市消防団だけでなく、日本中の消防団が同じ事を思っているのではないでしょうか。東日本大震災の時は惨状を目の当たりにして、完全に心を折られ、何度も消防団人生の中でこれ以上辛いことはないだろうと思いました。あれから10年、今度はウイルスによって日常が制限され、普段の消防団活動が出来ない状況となっています。このままでは団員の気持ちが離れていくのではないか？モチベーションの維持は保っていけるのか？知識や技術は継承出来るのか？など、不安と葛藤の日々が続いています。そこで、第11分団では、心が押しつぶされないよう、団員の気持ちが一つになれるようにオリジナルのマスクを作り、全団員に配布しました。このマスクは第11分団の絆の象徴であります。消防団は「自分たちの地域は、自分たちで守る」という共通の使命感を持つことからこそ、他には無い人間関係が築けると思います。厳しい訓練や現場活動がありますが、それ以上のやりがいを感じ、素晴らしい仲間との出会いは、一生の財産となります。制限解除にはまだまだ時間がかかると思いますが、団員の社会生活上のリスクや家族の心情等を考慮し、新しい活動様式を取り入れながら、励んでまいります。消防団車両および機械器具の点検、整備は、安全かつ迅速に行い、地域防災力を低減させることのないよう努めてまいります。地域社会の担い手が減ってきてますが、一人でも多くの新しい団員が入団すること、そして、新型コロナが一刻も早く終息し、団員が全員で大きな声を出し、伸び伸びと活動できる年となって欲しいと強く願います。



第11分団長
石川 利宏

編集部より

昨年から続くコロナ禍の中、新年を迎えたが、年末年始はいかがお過ごされましたでしょうか。昨年の消防団事業は、新型コロナウイルス感染症の影響から例年の半分以上遂行できませんでした。年2回発行してまいりました「消防団だより」ですが、昨年夏号は休刊とさせていただきました。冬号も紙面での発行はせず、ホームページ掲載という形をとらせていただきました。編集部としても、非常に残念な思いであります。これも感染防止の新しい様式と捉え、皆様にもご理解をお願いしたいと存じます。さて、未だ全国的に減少を続けていた消防団員ですが、当消防団でも同様に減少の一途をたどっています。5年前と比較すると130人超も減少しています。佐々木正人副本部長を筆頭に「団員確保等ワーキンググループ」を定期的に開催し、女性団員を含めた団員確保に励んでいます。女性の運営参画や役割などを明確にすることで、入団しやすい環境が整備され、組織の活性化が期待されます。コロナの早期終息を願い、今年も変わらぬ心意気を持って消防団活動に邁進していきたいと思いますので、皆様の温かいご支援をよろしくお願ひします。



男性団員・女性団員募集中！